

札幌市子どもの権利条例制定検討委員会中間答申書・市民意見（概要版）

【市民意見の総数】

- ・子どもからの意見 503 件
- ・大人からの意見 187 件
- ・合計 690 件

【子ども（18歳未満）の意見】

1. 中間答申全体に関する意見・感想（141件）

- ・大人は、「子どもなんだから」というけど、このパンフレットを読んで、子どもにもちゃんと権利があるんだな、と思った。
- ・子どもでも「生きる権利」「育つ権利」などの権利があって、その権利について条例をつくろうとしていることは素晴らしいことだと思った。このことを進めるべきだと思った。
- ・権利は、大人にも子どもにも、とても大切なものだから、私も大人になっても「子どもの権利」のことを忘れないようにしようと思う。
- ・自分たちが、ふつうに学校に通っていることは、最初権利だとは知らなかった。それに、子どもにはいろいろな権利があるのは知らなかった。子ども（自分たち）のために大人がいっぱい話し合ってることがうれしい。
- ・子どもの権利をつくるのもいいけど、わがままな子や、権利があることだけを気にしている子ができるので、そういうことも考えて条例をつくってほしい。
- ・私は、実際に誰かの役に立てると信じているから、子どもの権利条例があればいいと思う。反対の意見には「子どもが権利ばかり主張するのではないか」と言う人もいたが、権利はわがままと違うと私は思う。
- ・もっといろんな人に「子どもの権利」というのを知ってもらうことが大事だと思う。知ってもらうことによって、子どもがわがままになる心配も少し減るかもしれないと思う。
- ・子どもの権利条例をつくるのは、良いことだと思う。でも、この条例は札幌だけなので、札幌以外の地域にも広げていくといいと思う。
- ・僕は、札幌だけでなく世界の子どもたちみんなが社会に参加したり、守られたり、そして何より生きる権利を持っていると思う。だから、これからは札幌が「子どもに優しいまち」と言われるようなまちづくりをしてほしいと思う。
- ・やっぱり、子どもに「権利」があってもなくても、自分でしっかりしなきゃこれから生きていくのが辛いと思う。自分で強い意志を持って、しっかり相手の目を見て話した方が「権利」と言うよりいいと思う。
- ・私は子どもが自由に伸び伸びと過ごせる街をつくるのには賛成だけど、大人の話もまじめに聞かないような子どもが、さらにわがままになってしまうかもしれないから、あまり子どもにとって

都合の良すぎる条例はつukらない方がいいと思う。

- ・ある権利を守ろうとすると、別の権利を侵してしまうことでもでてくるのでは、と不安になった。
- ・親のしつけが悪いと、子どもも悪くなるので、そのところをしっかりとった方がいい。大人になったら子どもを甘やかさず、厳しすぎず子育てしたい。

2. 「参加・意見表明」に関する意見・感想（49件）

- ・市での行事に、誰でも参加できるようにしたらいいと思う。意外と子どもの方が、大人では考えられない意見があると思う。
- ・学校の行事で、自分の意見だけで行動するとうまくいかないから、ちゃんとみんなの意見を取り入れて進めた方がいいと思う。
- ・障がいがある人もみんな同じと考えて、安心して仲良くできるように、各学年とのかかわりを深めて、行事などイベントをたくさんできればいい。
- ・お祭りなどのみんなが楽しめる行事をもっと増やしてほしい。
- ・世界の子どもたちとふれあえるような行事やイベントがあったら参加したい。
- ・夏休みなど冬休みの中で、何かイベントを作り、自由に参加できるようにしたい。
- ・公園などの公共施設をつくる時、子どもの意見をアンケートなどで聞いてほしい。
- ・障がいのある人が考えていることは違うはずだから、何か交流ができるような行事や作品展などのようなものがあつたら、一回参加してみたい。
- ・社会に参加できるのなら、どんどん参加したい。
- ・大人の見解ばかりでなく、子どもの意見も聞いてほしい。
- ・自分の進路について、どこの学校に行くか、何委員会に入りたいかとかは、親が全部決めずに、子どもが「ここがいい」と言つたら、なるべくその希望を聞いてもらいたい。
- ・イベントに子どもも参加することで、色々なことを大人から学べると思う。
- ・親や先生達などの大人たちは、「子どもは、自分で何も決められない」などと思っていることがあるので、子どもは一人ひとり意思や想うことなどがあるから、その想いや意見を聞いて、話し合ってもらいたい。
- ・子どもには、子どもなりの考え方がある。子どものための条例をつくるのなら、子どもの意見を聞くべきだと思ふ。子どもは、かならず大人になるのだから、子どものうちから社会のことにも少しふれておいたら、大人になったときに役に立つと思ふ。

3. 「安全・安心なまち（主に防犯について）」に関する意見・感想（140件）

- ・最近、子どもをつれさつて暴力する人が多いので、自分の身を守れるような仕組みをつくつてもらえつと、とてもうれしい。
- ・いつも習い事の帰りとかに、夜、暗いところがあつてこわい。子どもが、暗い夜の道を安全に歩けたらいい。

- ・子どもが安全に暮らせるために、交差点で大人が見回りしてほしい。
- ・細い路地裏や人通りのないところを集中的に、防犯ベルを設置してほしい。
- ・「子ども 110 番の家」をもっと増やしてほしい。
- ・夜に出歩くときに暗い道を通るときは、とても不安。街灯を増やしてほしい。
- ・学校の行き帰りに怖い思いをしなくてすむシステムなどがあればいい。
- ・地域の人などでパトロール隊をつくってほしい。
- ・この頃、不審者が多く出ていて、とても心配。「子ども 110 番の家」や「お店」を増やして、すぐ逃げ込めるようにしてほしい。
- ・人通りの少ない道は、その地域の学校の登下校時間に合わせてパトロールしてほしい。

4. 「居場所（主に公園について）」に関する意見・感想（80 件）

- ・公園にもっと遊具を増やしてほしい。
- ・公園に時計をつけてほしい。
- ・ボール遊びができる公園をつくってほしい。
- ・サッカーや野球をもっと堂々とできるような、広い公園があるといいと思う。
- ・今、冬に遊べる公園は、少ししかないので、冬でも遊べる公園をふやしてほしい。
- ・学校のまわりに公園が少ないから、学校のまわりに公園をつくってほしい。
- ・私の家の近くにはとても小さい公園がひとつしかなく、道路で遊ぶわけにもいかないの、友だちが着ても家で遊んでいる。外での遊び場所がほしい。

5. 「毎日の生活」「学校」に関する意見・感想（71 件）

- ・最近、小学生でも平気で夜遅くまで起きている子が多くなっていると思う。親などは、きちんと注意した方がいいと思う。子どもの健康のことを考えると、睡眠はきちんととらせるべきだと思う。
- ・子どもはなるべく早く寝るようにして、朝寝坊しないようにすることと、朝ごはんもしっかり食べるようにしたほうがいいと思う。
- ・寝るのが遅くなると、次の日にその分眠くなって授業に真剣になれないから、夜更かしはやめた方がいい。
- ・中学生になるときに不安なので、小学校のうちから、他校の子どもとふれ合う時間がほしい。中学校に入る前から、服装、勉強、部活のことなどもっと教えて欲しい。
- ・小学校でも英語を習いたい。外国の先生が 1 校につき 1 人はほしい。
- ・休み時間を長くしてほしい。学校でもっとイベントを増やしてほしい。

6. 「自然や環境」に関する意見・感想（42件）

- ・広い公園や自然豊かな広場がいろんなところにあつたらいいと思う。
- ・今は家やビルが増えて、どんどん自然がなくなっているから、木や花をいっぱい増やしたい。
- ・木をもっとたくさん増やして、住みよい町づくりをしてほしい。
- ・最近はおとことりなど、自然に身近に触れる機会が少なくてさびしいので、もっと自然を増やしてほしい。
- ・自然と触れあえる時間がほしい。
- ・美しい自然が味わえるので、きれいな川や森や動物などにふれあえたらいい、と思う。
- ・札幌のまちをもっときれいにしたい。

7. 「いじめ、差別等」に関する意見・感想（132件）

(1) 「いじめ」について（65件）

- ・いじめや虐待は、自分ひとりの力ではどうしようもないから、1人で簡単に悩みを聞いてくれるシステムや、近所での呼びかけを行って、みんなが明るくなればいいと思う。
- ・学校の中でも、やはりいじめはだめだし、相談する人がいなかったら、自分の感情をださない子どもになるので、電話などの相談室をつくるのがいいと思う。
- ・学校の中で、いじめにあっても、誰にも相談できない子がいるので、もっと先生たちが、相談しやすいように子どものことを考えて欲しい。
- ・今はいじめられている人がいても先生は気付かないので、ちゃんと行動の変化とかを見るようにして欲しい。
- ・いじめは許されることではないから、困っている人がいたら助けられるような、やさしい学校がつくれたらいいと思う。
- ・自分の意見をうまく伝えることができない子が多いけど、そういう子はいじめがあっても隠すような子になると思うので、よくないと思う。
- ・いじめを相談できる場所を沢山つくった方がいいと思う。
- ・電話で相談するよりも、学校で知っている人に相談したほうがいいと思うので、学校の中に相談室があつたらいいと思う。

(2) 「障がいのある子どもたち」について（44件）

- ・障がいのある子どもたちが安心して生きていけるような権利は、絶対あつたほうがいいと思う。
- ・障がいのある子など、差別を受けることによって、外に出られなくなる人もいるから、みんな同じように差別のないまちにしたい。
- ・障がいのある子もできるだけ普通の物を使ったり、普通の目で見たい。
- ・障がいの学級にいる友だちが、私たちと同じ場所で同じように授業ができればいいと思う。
- ・僕たちの学校では、障がいのある子と一緒に登校して交流を深めている。こういう学校が増えれば差別はなくなると思う。

【一般（18歳以上）の意見】

1. 条例の意義・条例制定に対する意見・感想（105件）

賛成意見、賛成を前提とした意見・提案（78件）

- ・ 条例をつくることは大賛成。障がいのある子や、国籍・民族の違う子どもたちは、仲間はずれにされたりすることはよくあるので、きちんと権利を保障して欲しい。
- ・ 子どもの権利条約の内容は素晴らしいものだ。しかし、それを把握している人の割合は、かなり小さいと思う。今後は、普及活動に力を入れるべきだと思った。
- ・ 子どもがいずれ大人になり、責任ある人間になれるための条例であって欲しい。
- ・ 条例が標語になることなく、効力のあるものにして欲しい。

消極的な意見（14件）

- ・ 中間答申に記載されている様々な問題について、この条例制定で何が変わるのか。この条例だけで変えるのは不可能だと思われる。
- ・ 意見表明権が必要というが、そんな子どもたちが占めたらどうなるのか、学校の中で「私は数学はいやだ」と表明したら、どうまとめるのか。
- ・ 中間答申の方向性では条例をつくる意味はあまりない。現行法の枠内で十分対応可能。
- ・ 現行法の強化が先ではないか。
- ・ 条例制定に関して、「子どものわがままを助長するだけではないか。」という批判はないのか。自分もそう思う。
- ・ 子どもの権利ばかり先行するのはおかしい。まず、義務を果たしてから、権利について言うべきだ。市は、子どもの義務についての条例をつくるのが先だ。

その他（13件）

- ・ 条例は良いものだと思うし、子どものことを考えるきっかけに親がなるのかもしれないが、条例がどの程度いかされるのか、よく分からない。
- ・ 「子どもの安全・保護条例」とすべき。

2. 権利救済制度に関する意見・感想（15件）

賛成意見、賛成を前提とした意見・提案

- ・ オンブズマン制度賛成。学校内でうまくいく事例だけではない。駆け込み寺の存在（第3者的な存在）はセクハラなどの場合でも必要。
- ・ 学校と一体となり実効性のあるものにしてもらいたい。被害救済が十分でなければ批判を浴びることになる。
- ・ 現行法では対処できないような部分に関して補完できるような、まさに苦しんでいる子どものための条例であってほしい。

消極的な意見

- ・シンポジウムの際に、委員長からまず条例を作ってやってみないとわからないという話があったが、綿密に条例に関する運用の規程を細かく検討する必要がある。学校で生じた問題に関して基本的に学校と保護者で解決に当たるべきである。第三者間の介入は学校に混乱をもたらす可能性がある。

その他の意見・提案など

- ・中間答申における学校の状況の記述とPTAとして見る学校の状況に相違がある、きちんとした状況把握なしに、オンブズマンパーソン制度などの方策は拙速ではないか、もっと時間をかけ調査検討することが必要。
- ・子どもの権利を認め条例化することは賛成だが、オンブズマン制度はかなり綿密な他の行政との関係調整が必要。
- ・児童相談所やいのちの電話など、今ある制度などはどうなるのか。
- ・オンブズマンからの勧告だけで子どもの権利がどれだけ守られるのか。

3. その他権利保障に関する意見・感想（32件）

権利、権利保障全般について

- ・同じような権利がいくつかあったので、もう少し具体例を挙げたほうが良い。
- ・何が権利侵害に該当するのか、具体的、網羅的に列挙することも必要ではないか。

参加・意見表明について

- ・意見表明権などの権利の保障を重視した形で検討されているのは良い。

普及・啓発について

- ・「権利」という言葉のイメージが誤解や偏見を生んでいる面もある。周知の方法について具体的に検討してほしい。

その他

- ・子育てや子どもの成長に関わる人たちへの支援も大切なポイントである。この人たちが元気であれば、子ども権利が脅かされる可能性も否定できない。(No.1)
- ・条例制定後の専門委員会がどう機能するのが重要だと思う。

(注) 件数については、複数項目のご意見があるため、合計数値とは一致しておりません。